

宮崎市立生目台中学校 1年生 景観教室レポート

景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり都市の個性や文化水準を表すものです。

生目台中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識の向上、郷土への愛着を育むことを目的とし、令和4年8月から9月にかけて宮崎市景観課と(一社)宮崎県建築士会の協力により、1年生72名を対象とした『景観教室』を計4回行い、「生目台に移住したくなるポスター」を作成しました。

第1回「景観を知る、考える」 8月29日(月) 1・2時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の川口さんによる基礎的な授業が行われました。自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・企業」が協力することが大切なことを知りました。



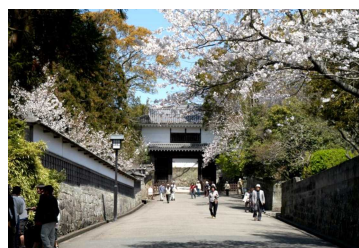
自然・道路 (ワシントンニアパーム)



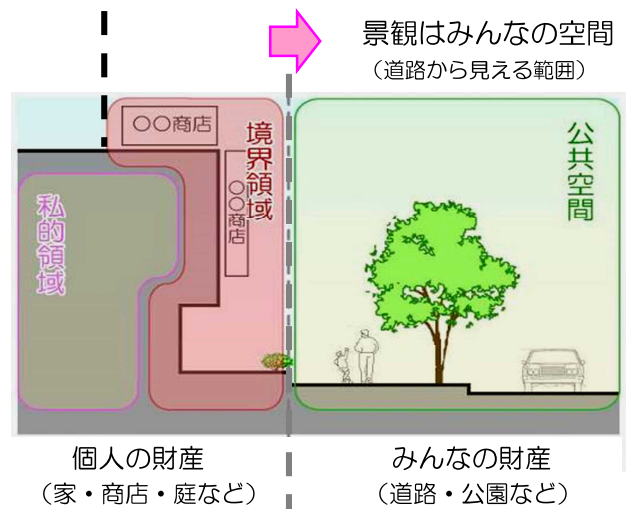
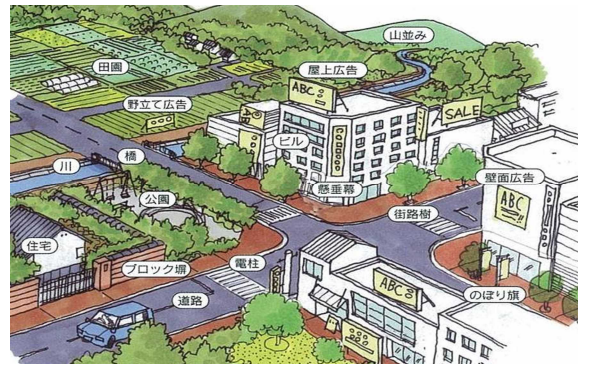
建築物 (宮崎県庁本館)



産業 (田野町にある大根やぐら)

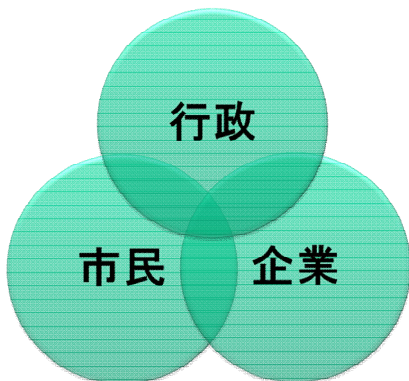


歴史 (日南市 飢肥)



☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史…
- ②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



景観はみんなでつくるもの・守るもの



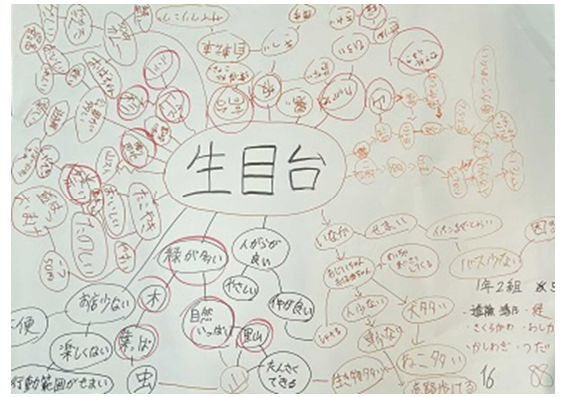
講師の川口さん (建築士会)



みんな真剣です！

■ 生目台周辺のイメージを探る～マインドマップ作成

後半は「マインドマップ（連想図）づくりです。心（マインド）の中で思っている言葉を地図（マップ）のように自由に書いて、イメージをふくらませるものです。このマインドマップという手法を用いて、「生目台をイメージする言葉」と「生目台にあったらいいな！」と思うものも書き出しました。



第2回「景観を調べる」 9月12日（月）1・2時間目

👣まちあるき👣 ☆出発☆

生目台中学校周辺を12班に分かれて、調査しました。



ポスター作成に向けて様々な場所を調査する生徒達。イイね！と思う場所で写真を撮りました。

◇まとめ作業◇
調査箇所、ポイントを地図に落とし、各自感じたことなどを付箋に書き、張り付ける



第3回「景観を表現する」 9月20日（火）1・2時間目

■ 「みんなに移住してもらおう！PRポスター」の作成

班ごとにタイトル・キャッチフレーズやPRポイントを考えました。



たくさんの写真の中から選ぶのが大変でした📷

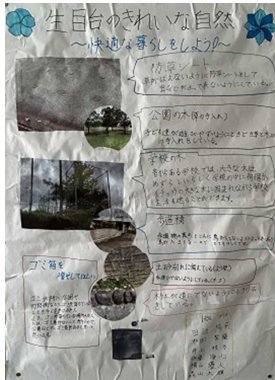


第4回「ポスターを仕上げて発表する」 9月26日(月) 1・2時間目

どのようにPRするのか様々な視点から考えることで、生徒たちは生目台地区について改めて知り、新たな魅力の発見もありました。生徒達は様々なアイデアを出し合いながら真剣に取り組みました。

★★ 地域愛のあふれる作品になりました ★★

☆1組☆



【1班】



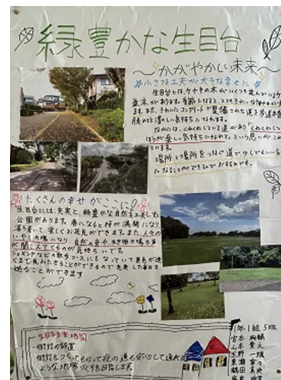
【2班】



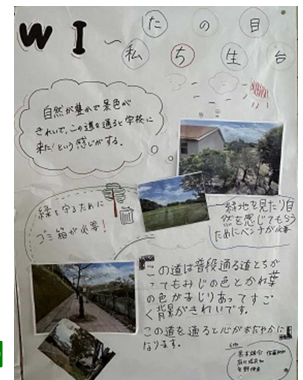
【3班】



【4班】



【5班】



【6班】

☆2組☆



【1班】



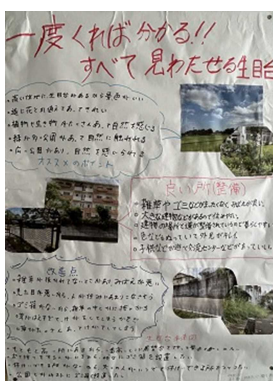
【2班】



【3班】



【4班】



【5班】



【6班】

★ 発表の様子 ★



発表後、全作品を廊下に掲示し、他のクラスの作品の見学をしました。



☆☆ 総合発表会の展示の様子 ☆☆ (R4.9.30)



■ 生徒の皆さんの感想（一部を紹介します）

- 小学校ではコロナで中止になって、このようなまちあるきなどできなかったのですが、班のみんなとまちあるきや生目台に欲しいものを考えたり、ポスターを作ったりなどとても楽しかったです。景観教室を通して生目台の良さ、自然の恵みのありがたさに気づかされました。
- 生目台には、豊かな自然を利用して工夫された公共施設や地域の人と交流できるいいの場があり、自然の音や生き物の鳴き声を聞くことでリラックスし、気持ちが良い所も大好きです。そんな生目台にも改善する所がたくさんあります。小さな工夫をすることで、大きな幸せに変わっていく未来になると思います。
- 山スト近くの鐘と一緒に同行していただいた建築士会の方が設計に関わったのだと聞いて、作った側、作ってもらった側、どちらも笑顔にできる景観はすごいなと思いました。ささいな工夫がたくさん笑顔を作ってくれる。学んだことを活かし、そんな笑顔あふれる景観を自分自身で考えたいと思いました。
- よく来る公園の通り道に咲く花や、木の落葉で色づいたようにきれいな道など、普段は何気なく通っていた道が、意識して通ってみると、とてもきれいな風景が広がっていました。景観教室は私たちに新しい観点を教えてくれました。これからもいろいろな観点を観察していきたいです。

■ 景観教室を終えて

生目台地区は昭和 60 年代から団地開発が進められ、平成に入り人口増加に伴い生目台中学校も開校しました。元生目地区は神社や史跡、巨木など歴史を感じられる地域遺産が多く、その風土の中、団地内は整備された歩道や公園、街路樹など都市デザインが施され自然と住環境の調和が取れています。そんな地域の中「この生目台地区に移住してもらおう！」というコンセプトで景観教室を進めていきました。生徒さん達との町歩きは残暑の中でしたが、青々と茂る樹木が気持ちよく、また成果品のポスターでは移住を促す様々なアイデアが楽しく心躍らせるものでした。全体的に理解力も高く誠実な生徒さん達で授業に取組む姿勢も好感の持てるものでした。また機会がありましたら是非伺いたいと思います。ありがとうございました。

(一社) 宮崎県建築士会 福添勝郎